

Doing から Beingへ ～あなたが何かできるから、何かをするから大切なのではなく、あなたがここにいてくれること それ自体が大切なのです～

学校教育目標

人権尊重の精神を基調とし、社会において信頼される
人間性豊かな生徒の育成を目指す
豊かに、たくましく そして 創造的に

社会で自分らしく生き抜くために

- ・心、感性をしなやかにして「豊かさ」を
- ・しなやかさのある「たくましさ」を
- ・しなやかに考え「創造的に」



清泉中教職員の姿勢

- ・15歳の姿に責任をもつ
- ・誰一人取りこぼさない教育を実践する
- ・障がいのある無に関わらず特別支援教育を礎に、誰にとっても分かりやすく安心できる指導と支援を行う
- ・「つよいつながり」だけではなく「ゆるいつながり」を意識する

めざす学校像【清泉中に関わるすべての者にとって「真に楽しく」、

「学び、集いあえる」学校の実現をめざす】

- 1 学校は「成長を実感できる場」
- 2 学校は「自己実現できる場」
- 3 学校は「夢や希望をはぐくむ場」
- 4 学校は「安心して安全に生活できる場」
- 5 学校は「『意外性』と『多様性』を生かしていく場」

「4」の補足：安心感があり安全な学校（集団）生活を送るためには、ルールを守り（ダメなものとはダメ）、マナー（互いを思いやる心）のある環境を生徒・保護者・地域とつくる必要がある

めざす教師像【15歳の生徒の姿に責任をもつ教師】

- 1 生徒一人一人を大切にする教師（声を聴く、対話から導き出す）
- 2 1時間1時間の授業を大切にする教師（声を聴く、授業の質を向上する）
- 3 生徒・家庭・地域から信頼される教師（声を聴く、自らの背中で範を示す）
- 4 「和」を重んじ、チームのために自己の力を発揮できる教師（自分の考えを適切に伝える、仲間の声を聴く、意思を統合する）
- 5 清泉中を愛する教師（清泉プライド！）



学校経営

- ◇生徒と教職員が心を通じあい、学びあい、助け合い、励ましあうことを通じて、人とのつながりあいを大切に、互いを高め、成長しあう
- ◇生徒も教職員も考え、行動する
- ◇地域学校協働本部を立ち上げ、地域とともにある学校をめざす
- ◇生徒の主体性を伸ばす指導を重視する
- ◇問題、課題に対して、組織的に毅然と対応し、保護者及び関係機関と適切に連携を図る

特別活動

- ◇キャリア教育（アントレプレナーシップ）の視点を位置づける
- ◇自治的活動（委員会活動等）を活性化させる
- ◇生徒が考え、決定し、実行する（守る）活動を重視する
- ◇どの生徒も大切な一員であることを意識できる環境をつくる
- ◇生徒の「よさ」や強みを生かし、可能性を引き出し伸ばす学級経営、部活動経営をする

指導・支援のポイント

学習指導

- ◇「学ぶ」に対する基本的な姿勢を確立する
- ◇自らの考えを生かす「学び」がある（主体的な学び）
- ◇「何のために」を意識する「学び」がある（目的意識）
- ◇個別最適な「学び」がある（指導の個別化、学習の個性化、ICTの効果的な活用）
- ◇協働的な「学び」がある（対話的な学び、問題解決に向けた協働）
- ◇つますきをチャンスに次の手立てを考える「学び」がある（自己調整力の育成）

「学校が楽しい」「ここにいていいんだ」という

安心感をもち、生徒たちが「笑顔で学校に通う」学校

生活指導

- ◇「ことば」への意識を高める（SNS等の「ことば」も含む）
- ◇生徒との対話（非言語含む）を通じた生徒理解を深める
- ◇誰にとっても分かりやすく、丁寧に、明確な指示をする
- ◇規範意識のある自己肯定感、自己有用感を醸成する
- ◇いじめをはじめとする諸問題 見逃し「O」未対応「O」
- ◇主体的に考え、他者（時に自分）との対話を通じて判断、行動する姿を見守る
- ◇自分の可能性やよさ（強み）を考える場面を設ける
- ◇体験活動や地域人材（材）とのふれ合い、学ぶ機会を重視する

教職員の働き方改革を推進します

生徒たちの豊かな学びと健全な成長に向けて、教職員の心身の健康保持の実現と教職員が誇りとやりがいをもって職務に従事できる環境を整備することで、教育の質の向上を図ります